

ファイナンス コース紹介

長崎大学経済学部
2022年度 履修コース説明会

目次

- ファイナンスとは何か
- コース科目の紹介
- 卒業後の進路

ファイナンスとは何か

- ・ファイナンス≒金融
- ・ビジネス的観点の重視
- ・資金調達者の視点，資金運用者の視点，金融制度設計者の視点

金融は経済の循環器系

- ・資金提供者(家計等)から資金調達者(企業・政府等)への資金の融通
- ・資金調達者から資金提供者への成果の還元

金融を「ファイナンス」と呼ぶとき

- ・経済の「中の人」の観点を重視する
- ・例えば，投資リスクの管理手法など

3つの視点からファイナンスを捉える

- ・資金をどこからどのように調達するか
- ・調達した資金をどのように運用するか
- ・社会的に望ましい金融制度はどういうものか

コース科目の紹介（学生便覧83ページ）

1. 経済学・経営学の基礎知識（14科目28単位）
2. 金融に関する基礎・専門知識（15科目30単位）
3. 国境を越えた経済活動や資本移動（8科目16単位）
4. ビジネス実践力育成プログラム（2科目4単位）

※ 特に2および3の一部がファイナンスコースのメインです。

主なコース科目

- 金融論I, II
金融の舞台（金融市場）と役者（家計，企業，政府，金融機関）と演目（資金の調達と運用）の基本を理解する。
- 金融システム論
金融市場における経済主体（家計と企業）の行動、金融市場・金融機関の機能・役割などについて学ぶ。
- 現代ポートフォリオ理論
投資家にとっての最適な資産選択に関する理論について学ぶ。
- 企業ファイナンス
企業経営における資本の調達と運用を「キャッシュ・フロー」，「時間」，「リスク」の概念を中心にして考察する。

主なコース科目（続き）

- 銀行論
金融システムの中で重要な役割を担う銀行の行動について詳しく考察する。
- 証券論
証券市場，証券投資等に関する基礎知識および実際を学習する。
- 保険論
経済学的な視点から保険を捉える（特に，モラルハザード，逆選択や保険会社を取り上げる）。
- 計量経済学I, II
現実の経済データから経済的インプリケーションを読み取るための回帰分析手法を学ぶ。

主なコース科目（続き）

- 商法I, II

商法（商法総則・商行為），手形法，会社法などの，金融システムが円滑に機能するための法体系について学ぶ。

- 国際金融論

国際金融の歴史，制度および理論（金本位制，国際通貨制度，為替レート決定理論など）について学ぶ。

- 国際経済学I, II

国際経済学をミクロ的視点とマクロ的視点から捉える（特に貿易と為替レートに重点を置く）。

卒業後の進路

- 令和3年度卒業生のうち、19.7%が金融・保険業に就職（過去には3割超の年も）。
- 経済学部生は金融業界に強いと言えます。
- ファイナンシャル・プランナー（FP）や証券アナリストなどの資格を目指す学生にとっても、ファイナンスコースは最適なコースと言えるでしょう。

| 業種 | 人数 | 割合 |
|----------------|-----|-------|
| 公務 | 52 | 21.3% |
| 金融・保険 | 48 | 19.7% |
| 卸・小売 | 29 | 11.9% |
| 情報通信 | 20 | 8.2% |
| 学術研究、専門・技術サービス | 19 | 7.8% |
| その他 | 76 | 31.1% |
| 計 | 244 | 100% |